

大学生と考える！ 原子力発電の 現在地と未来地図

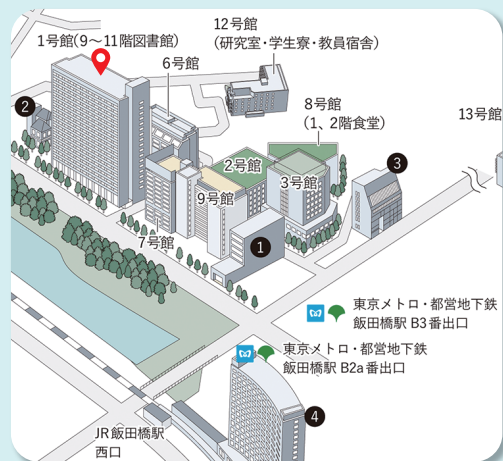


2025
11/9 日 13:30~16:30
(開場13:00)

会場定員：100名先着順・参加費無料※オンライン参加もできます

会場

東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館17階 記念講堂



JR総武線・有楽町線・
東西線・南北線・
大江戸線
「飯田橋」駅
下車、徒歩5分



▲会場アクセスは
QRコードからも
ご覧いただけます！

お申し込み

申込み締切：11月5日(水)

QRコード、または、メール、お電話でお申込み下さい

WEB

メール

※件名に【東京セミナー】と記載ください。

symposium@jaero.or.jp

電話

03-6891-1572 (平日10:00~17:00)



第1部 | 13:35~14:25 基調講演

「エネルギー政策の方向性について」

吉村 一元 氏

経済産業省 資源エネルギー庁
エネルギー・地域政策統括調整官

今年2月に第7次エネルギー基本計画が閣議決定しました。エネルギー政策、そして今後の原子力発電の方向性について、吉村調整官にお話を伺います！



「情報の社会への影響 -エネルギー技術に対する態度形成-」

高嶋 隆太 氏

東京理科大学 創域理工学部
経営システム工学科 教授

様々な媒体から情報が得られ、それらの情報の種類や量により、それぞれの考えや態度が形成されます。本講演では、既に保有している情報の世論への影響や、情報を得ることによる態度の変容についての分析結果について報告します。



第2部 | 14:30~15:15 学生発表

- 柏崎刈羽原子力発電所の視察での気づき
- 地元の方、東京電力HDの想いを聞いて
- グループワークで議論したこと 等

東京理科大学・早稲田大学の学生

9月に東京理科大学・早稲田大学の8名の学生が新潟県柏崎市・刈羽村を訪れました。柏崎刈羽原子力発電所の視察や、地元の方や東京電力HDのお話を伺い気づいたこと、学生同士のグループワークで考えたことを発表します。

見て

柏崎刈羽原子力発電所の安全対策を視察しました！



聞いて

柏崎は原子力発電所を誘致し、首都圏へ電気を供給してきたエネルギーの街です。地元 柏崎市の方にはエネルギーに対する想いについて、東京電力HDからは事業者の取組についてお話を伺いました！



議論して

各大学2名ずつに分かれた4人ずつのグループで合計249枚の付箋が飛び交う熱い議論を展開しました。



第3部 | 15:30~16:30 トークセッション

「大学生と考える！

原子力発電の現在地と未来地図」

吉村調整官、学生をパネリストに、今後の日本のエネルギー政策や原子力発電の将来などについて、参加者の皆さまと一緒に考えます。

主催：一般財団法人 日本原子力文化財団

協力：東京理科大学、早稲田大学、東京電力ホールディングス株式会社、電気事業連合会

問合せ：Tel 03-6891-1572 Mail symposium@jaero.or.jp